へ楷

書

へ隷

書













半折作品は各課目ごとに横渇に一枚ずつたたんで提出ください。

Щ

本

飛

雲

先

生 書 (この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

噩

次号予告「春風掩映千門柳 曉色融和萬井烟」

流花去りて掬し難し。

(明・高啓)

8

井之上

南

岳

先 生

書

条

幅随

意

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

介行 書



水の面に浮かぶ花は流れ去ってすくい取ることもかなわない。

 ∇

舟 尾 圭 碩 先 生 書

人者意佐 こ、ろもしらす ふるさと盤 花そ無可し農 香尓、本悲介流

〈百人一首 三十五〉

人はいさ

心もしらす

ふるさとは

花そ昔の

香ににほひける

9

田 成 美 先 生 書

吉

条 幅 随 意 (臨

書) (この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする)

 ∇ 黄庭経

幅 随 意 (この課題以外の語句書体自由のものもよい。 但、この課目のいずれか一点のみとする)

吉

田

成

堂

先

生

書

玄擁氣管受精符急固子精以自持宅中

半折作品は各課目ごとに横冷に一枚ずつたたんで提出ください。

北线

齋さい

北原白秋

ブ詩

一心玲瓏不一

Щ

桶屋箍ウツ桶ノ中ニ白金玲瓏天ノ雪。

≪手本

(課題例) にとらわれず意欲的な作品を期待します。≫

10

清

原

大

龍

先

生

臨

条幅随意参考手本(半折½縦のみ) — 1月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

詩情を意識しながら、鶴の強き生命力と真白き雪の情景を表現してみたかった。極寒の白一色の雪の中で、鶴は微動だにしない。真っ赤に燃える初日が雲を染めてゆく。凍鶴の一夢のはじめに「火色雲」『鷹羽狩行の句

今年もよい年でありますように。

い、風美感

吉田成美先生書

条幅随意参考手本(半折½縦のみ) — 1月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

昔の聖人の踏み行った足跡。 「古」の一画目を懐広く運腕し、 下部はゆっくり力を溜め、「徹」で一気に動きを求めてみました。

□古徹

(コテツ)

小 畠 秋 聲 先 生 書

半紙規定参考手本 — 1月末日締切 —

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

日々、ありのままに暮らしていること。
」独り大雄峯に坐す(碧巌録)



吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

日々、ありのままに暮らしていること。
□独り大雄峯に坐す(碧巌録)



吉 田 成 美 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

子を思う親の心の絶大なたとえ。



次号予告「覺跌千里」

渡邉大嶽先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

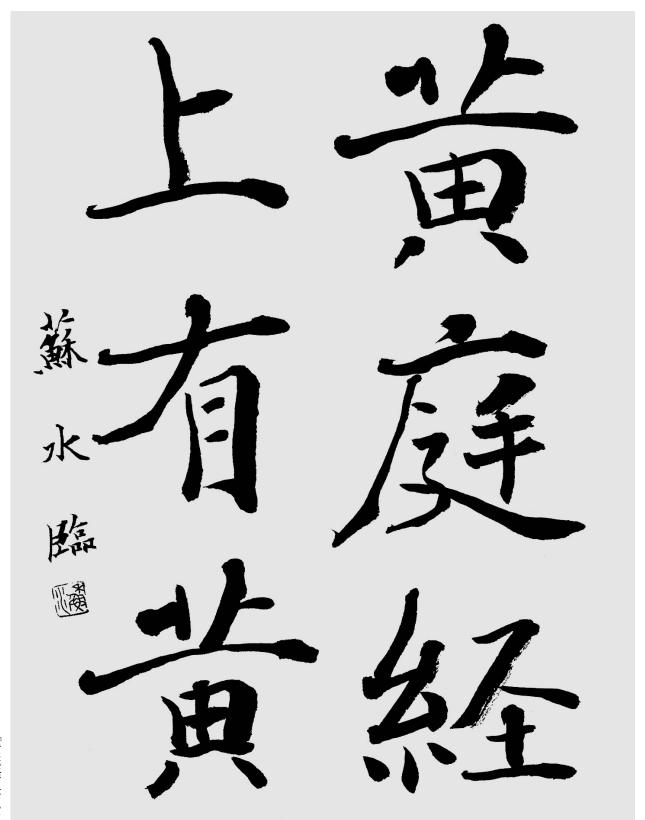


西谷芝蘭先生書

△臨 道教経典で内容は不老長寿の養生訓。 字形は扁平に近く、字間をあけてゆったりと。

半紙随意(臨書)参考手本 — 1月末日締切—

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする)



「黄庭経上有黄」

廣瀬蘇水先生臨

半 紙 随 意 参 考 手 本 — 1月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

	で健康をおめり	ご祭内	的运用	御年賀	
旗	的中上十	却招待	新年仓	神命始	
多	中一十万种的绿	女孩节	视神成人	なってま	
	り合わせのと	記念品品	种贐	なみやげ	

大坪桂子先生書

〈実用書〉 御年賀 御年始 おとし玉 おみやげ 初正月 新年会 祝御成人 御贐 記念品 ご健康をお祈り申し上げ

ご案内

御招待

御挨拶

万障お繰り合せの上

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

<手紙文> いつもの生活に戻りましたが、子供達は未だ福岡の話ばかりしています 帰省中は大変お世話になりました お疲れではありませんか 毎日美味しい物ばかりで幸せなお正月でした 喜代

伊良子 喜 代 先 生 書

一般硬筆部参考手本─1月末日締切─

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

国 事を不安に 開催となり 1 ? に書展了 水 感 企画 13 P 夏 4 角

・本年もよろしくお願い致します。新年を迎えたこの時期は、新しいことに挑戦してみたいと考えている方が多いと思います。悩んでいるお友達を誘って、書のお仲間を増やしましょう。 ※本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵 頭 白 慧 先 生 書

罫のある便箋に書いてみよう。

26 cm ×

18 cm

紙質は自由

(この課題以外の語句のものもよい。

但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

坂

元

紫

香

先 生 書

ようねん・小学1年

小学4年

小学3年

小学2年

中学2・3年

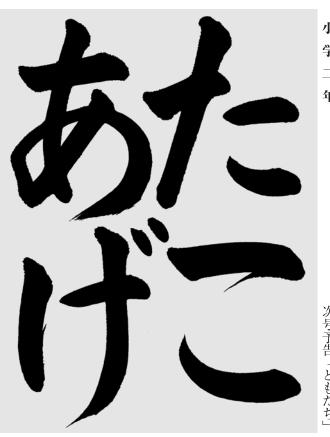
中学1年

小学6年

小学5年

△条幅¼=四尺画仙紙半折¼ … 8cm×17・5cm

□「げ」の三画目は、一画目より長く書きましょう。濁点は、筆の先をととのえてからゆっくりと。



学 二

小 年

□ 筆だけをまわさず、腕全体で伸びやかに書きましょう。 ″ハネ゛はていねいに。

次号予告「ともだち」



紫 香 先 生 書 坂 元

小

学

□「初」は筆順と点や画の接し方に注意し、「日」は線の強弱と転折に気をつけて書こう。

□ 文字の中心に気をつけながら、線の方向や強さ、"はね、・"はらい、を伸びやかに書こう。 Щ 年

次号予告「自 然

美 先 生 書 成 吉 \mathbb{H}

23

小 学 三 年

次号予告「花かざり」

小 学 年

命

Ŧī.

次号予告「生

□「早春」は横画の間隔を等しくし、「春」の四画目と「光」の最終画に注意しましょう。 小 学 六 年

次号予告「緑の大地」

永 春 先 生 書 秋 霞

中学二・三年

□「幸」は中心を通る縦画をそろえ、二文字の中心にも気を付けて書きましょう。

□ 筆の穂先をつかって、リズムにメリハリをつけ、急がずにゆったりとした気持ちで書こう。

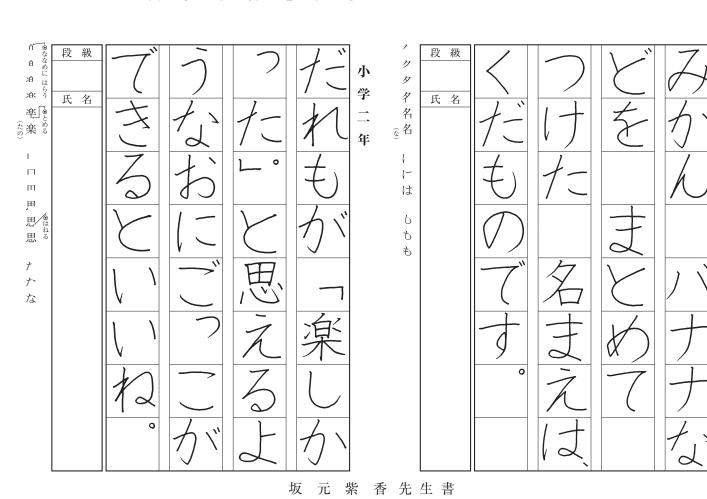
□ 古典を意識した楷書です。始筆・終筆・線の方向や長短・強弱に注意しよう。

次号予告「歴史に学ぶ」(行書)

中 学 年 次号予告「出 発」(行書)

美 先 生 書 成 吉 \mathbb{H}

ようねん・小学一年



□上がわを出す 小 学 以以以 首 四 三 首 年 年 ----井 たけらいをさきに書く 一一一十一有有有 (ゆう) 站 查 草と 段 級 段 級 葉る ななめにうつ 氏 名 名 氏 Ì 訓 訓

坂 元 紫 香 先 生 書

より長い「つき出る」とより長い「つき出る」 きだ 深 筆 きのことを取り上げています。書 Γ てもっていたイメージです。 小 Ħ١ い所で暮らすことになった 者は、自分か 門 関見しめる 六 しは、それ以前に、雪につい 年 ノ 八 分 分 分 段 級 段 級 採しませる 古 小学生時代に雪 草に 氏 名 氏 名 ۰ ●まっすぐ おろし 上と下の 莫出る 上 仁 暮 仨 年

9 この土地で生まれ育った方で 関春子さんは、今六十五さい 理 くさんの山菜を採ってきて料 小 を作られるそうです。 学 Ŧi. 一菜採りが好きで、毎年 年

t, `

画用紙を置き、それを左手で押

ゼブラは家に帰ると、机の上に大き

中

学

畠 秋 聲 先生書 小

深夜営業の規制を検討する自治体 城 かべ さえながら、風景をかいた。山と谷 消費の多い深夜型の生活を見直す。 の排出を減らすのが主な狙いだ。不夜 かそれは と川と台地。不思議なことに、なぜ T の明 $\overline{\sqcap}$ 相次いでいる。省エネや二酸化炭素 帀 面 般 がりを消すことで、エネルギ 画 Â ш щ の顔のように見えた 严同 段 級 置置 段 級 ●ななめにうつ 氏 名 名 氏 詳 議場はなる

> 畠 先生書 小 秋 聲

(この課目はA・Bいずれか一点のみとする)